

横浜DeNAベイスターズの 地域貢献とセカンドキャリアについて

株式会社横浜DeNAベイスターズ 野球振興・スクール事業部

2021/12/22



野球振興・スクール事業部の業務

● スクールグループ

- ベースボールスクール、チアスクールなどのスクール事業の企画・運営
- 2021年12月時点で6名の元プロ野球選手が在籍
- チアスクールのインストラクターにはオフィシャルパフォーマンスチームdianaの現役・OGが所属



● I☆YOKOHAMAグループ

- 野球振興・地域貢献活動の担当として、幼稚園や小学校の訪問活動や野球振興イベントの企画・運営
- 2021年12月時点で1名の元プロ野球選手が在籍



- 野球振興・スクール事業部以外の部署では9名（チーム関連部署は除く）の元プロ野球選手が活躍

引退後のセカンドキャリアについて

引退後のセカンドキャリアとしてはチーム関連業務に携わるケースが多いがYDBでは事業部門への採用も増やし、元選手の活躍の場を広げている
事業系部門での経験や成長を買われチームに戻るケースもあり

● ビジネス統轄本部

● 野球振興・スクール事業部（7名）

ベースボールスクールのコーチや学校訪問などの地域貢献/振興活動や野球振興活動を担当
スクールコーチからプロ野球のコーチやチーム系の部署、他事業部署への異動も行われる

● 営業部（4名）

スポンサー様へのセールス活動を担当
コミュニケーション力が高く、お客様の心を掴む能力が高い

● ボールパークオペレーション（2名）

横浜スタジアムに出向し、試合の運営や球場警備などの統括を担当

● 広報・コミュニケーション部（3名）

● ファンクラブグループ（過去に在籍）

● チーム統括本部

監督・コーチなどの指導者、チーム編成部門（スカウト）、チーム戦略部門（アナリスト）
一軍・二軍のチーム運営部、人材開発や選手のパフォーマンスを向上させる育成部門など

横浜DeNAベイスターズの地域貢献活動

(参考)



<https://www.baystars.co.jp/region/>

横浜DeNAベイスターズの地域貢献活動方針



地域貢献活動方針



横浜DeNAベイスターズは、
“野球王国”神奈川県唯一のプロ野球球団として、



“FEEL” BASEBALL
“TOUCH” BASEBALL
“PLAY” BASEBALL



3つの機会の提供を通じて、
神奈川県の『子どもの未来』と『野球の未来』に貢献し続けます。

横浜DeNAベイスターズの地域貢献活動方針

“FEEL” BASEBALL



～「迫力あるプロ野球を目と
心で感じられる」機会の提供～

神奈川県内の小中学生を横浜DeNAベイスターズ公式戦に招待し目と心で野球を感じていただくことや、横浜DeNAベイスターズの現役の選手が小学校を訪問し夢を持つことの大切さを伝えています。



横浜DeNAベイスターズの地域貢献活動方針



“TOUCH” BASEBALL

～「野球にふれてもらう」機会の提供～

ボール遊びを通じて野球の楽しさを伝えることや、横浜DeNAベイスターズの選手OBが野球を教える訪問活動や、家族とコミュニケーションを深めながら野球を楽しんでいただくイベントを実施しています。



横浜DeNAベイスターズの地域貢献活動方針

“PLAY” BASEBALL



～「野球を本格的に学べる」機会の提供～

横浜DeNAベイスターズの現役選手や選手OBが講師となり神奈川県内の小中学生を対象に「野球をする楽しさ」「スポーツマンシップの大切さ」を伝えるとともに本格的な野球指導を行っております。また、ジュニアチームの指導や神奈川県内の中学硬式日本一を決める大会、プロ・アマの垣根を超えた交流戦を実施しています。



やきゅうみらい☆アクション

横浜DeNAベイスターズによる
「子どもの未来」と「野球の未来」に貢献する活動

やきゅうみらい☆アクション

子どもたちの運動能力は、11歳男児のソフトボール投げの平均が昭和60年と比べて約7メートル短くなるなど、野球の基本となる“投げる”動作の能力低下は著しくなっております。

子どもたちの運動能力と野球競技人口の低下を重く受け止め、野球の中長期的な発展のため、これまで行っていた野球振興活動を強化する取り組みとして、2017年から『やきゅうみらいアクション』を立ち上げ、活動しております。



DB. スターマン号

「やきゅうみらいアクション」活動の幼稚園・保育園訪問時に出動します！

DB. スターマン号はこんな楽しい車です！

POINT2
応援メガホンを持ったスターマンがいるよ

POINT3
車のナンバーが89(やきゅう)になっているよ



やきゅうみらい☆アクション

DB.スターマンカップ



本塁ベースの上に設置されたバッティング台にボールを載せ、止まったボールを打つ野球競技の一種である「ティーボール」を球団が一部のルールを変更し、『BT(ピーティー)ボール』として新たな競技を作りました。この『BTボール』を未就学児に楽しんでいただけるよう開催しております。



DB.スターマンカップ2021
56チーム 430名が参加

幼稚園・保育園 野球ふれあい訪問 2021年訪問回数 63回 (2021/4~2021/12現在)

横浜市内の幼稚園、保育園を対象に、やわらかいボールやバットを使った「ボール遊び」を通じて野球の楽しさに触れてもらい、同時に挨拶や友達を思いやる気持ちなど「スポーツマンシップの原点」を伝える機会を提供しています。横浜DeNAベイスターズのマスコットであるDB.スターマンやDB.キララ、オフィシャルパフォーマンスチームdiana(ディアーナ)も一緒に訪問して園児と触れ合っています。



小学校体育授業訪問 2021年訪問回数 61回

横浜市内の小学校で行われる体育授業に選手OBが訪問し、“投げる”“打つ”“捕る”などの野球の楽しさを感じてもらう活動をおこなっています。小学1・2年生を対象とし、より小さい頃に野球の楽しさを感じてもらい、本格的に野球をするきっかけを提供しています。



キッズベースボールフェスティバル

横浜DeNAベイスターズの現役選手が神奈川県野球少年少女に「野球の楽しさ」や「スポーツマンシップ」の大切さを伝えるとともに野球の指導を行っています。約2,000人以上が参加するこのイベントは、単日開催の野球教室としては球界最大級のイベントです。※2020年度はオンラインにて実施しました



2021年は11月28日横浜スタジアムで開催
143チーム 1,142名が参加

横浜DeNAベイスターズジュニアチーム

2021年が17回目となる「NPB12球団ジュニアトーナメントKONAMICUP」は「子どもたちが“プロ野球の夢”と言う目標をより身近にもてるように」という考えのもと12球団が各球団の選手OBを監督としてジュニアチーム（小学5、6年生）を編成し、年に1回トーナメント方式で日本一を決める大会です。

YOKOHAMA
DeNA BAYSTARS
JUNIOR TEAM
2021

NPB12球団ジュニアトーナメント
KONAMI CUP 2021
12/28[TUE] - 12/30[THU] 2021

AT YOKOHAMA STADIUM &
MEIJI JINGU STADIUM

YOKOHAMA DeNA BAYSTARS BASEBALL CLUB

DeNAベイスターズカップ

本大会は、神奈川県中学硬式野球の4つのリーグ(リトルシニア・ポイズ・ポニー・ヤング)の垣根を超え、各リーグに加盟する約90チームから神奈川県No.1を決定する大会です。



2021年で9回目を迎えました

その他活動

神奈川県こどもデー



神奈川県内の各自治体と連携し、神奈川県内の小中学生を横浜DeNAベイスターズ公式戦に招待しています。プロ野球の迫力あるプレーとプロ野球ライブ・エンターテインメントを「目と心で感じられる」機会を提供しています。

「星に願いを」プロジェクト



横浜DeNAベイスターズの現役選手が横浜市・横須賀市・平塚市内の小学校を訪問し、「星に願いを」と題して、授業を実施しています。選手と児童が夢について語り合い、夢を体現した選手との対話を通じて、児童に夢を持つことの大切さを実感してもらう機会を提供しています。

2020、2021年は
新型コロナウイルス
の影響により未実施

その他活動

ハマスタBAYドッジ



身近で馴染みのあるドッジボールを横浜スタジアムで実施しています。イベントを通して「投げる」動作の大切さを伝え、競技種目という垣根を越えてスポーツ界全体の発展に寄与したいと考えております。

ハマスタBAYドッジ2021
56チーム 430名が参加



野球ふれあいファミリーイベント



親子が一緒になってキャッチボールやバッティング、ストラックアウトなどの「野球遊び」を体験するイベントを実施しています。普段とは違う親子のコミュニケーションにより、野球をより身近に感じてもらう機会を提供しています。

2021年実績4回

- ・座間市親子野球教室
- ・川崎市スポーツフェスタ
など

その他活動

野球教室



横浜DeNAベイスターズの現役選手や選手OBを講師として、神奈川県内各地でプロの目線から「野球をする楽しさ」や「スポーツマンシップの大切さ」を再認識してもらいながら、本格的な野球指導を行っております。

2021年実績 5回

- ・中区キッズベースボールクリニック
 - ・横浜市中体連野球教室
 - ・金沢区野球教室
- など

DREAM GATE CATCHBALL



市民のみなさんに、気軽に横浜スタジアムでキャッチボールを楽しんでもらうために、『DREAM GATE CATCHBALL(ドリーム・ゲート・キャッチボール)』を実施しています。横浜DeNAベイスターズのナイトゲームがある朝、どなたでも無料で入場して楽しんでいただくことができます。

2021年実績 4回100名
2019年52回 8,300名



キッズSTAR☆NIGHT

2016年より野球を通して子どもたちの心身ともに健全な未来に貢献したいという想いのもとイベントを実施しています。2021年はキッズサイズのスペシャルユニフォームの配布、チームウェアのデザインコンテストや野球とのタッチポイントをつくる企画を実施しました。

DREAMGATEキャッチボールレクチャー



Hand in ユニフォーム (選手からのお渡し会)



キッズSTAR☆NIGHT Celebration



試合後イベント (光の野球教室)



横浜DeNAベイスターズ誕生10周年プロジェクト



横浜DeNAベイスターズ 誕生10周年プロジェクト

横浜DeNAベイスターズは、2020年12月1日に横浜DeNAベイスターズ誕生10周年目を迎え、神奈川県の小学校などに通う約46万人の子どもたちに、YDBギフトバッグ(ナップサック・フェイスカバー・ミニタオルのセット)をプレゼントしました。本取り組みは、“感動を、みんなと一緒に未来へとつなげる”という横浜DeNAベイスターズ誕生10周年目に込めた想いに、神奈川県と神奈川県教育委員会がご賛同していただき実現しました。



商店街との取り組み

一般社団法人横浜市商店街総連合会の加盟商店街に横浜DeNAベイスターズの試合スケジュールポスターやバナー掲出を行い、横浜DeNAベイスターズをより身近に感じていただくとともに、商店街の振興・地域発展につながる活動を行っています。



2020年まで実施（屋外広告物の関連で2021年は実施せず）

I☆ (ラブ) YOKOHAMA

I☆ YOKOHAMA



理念

わたしたち横浜DeNAベイスターズおよび横浜スタジアムは、『野球』が、“人と人をつなぐ”、“人と街をつなぐ”存在であり続けたいと考えています。「横浜、プロ野球のある街」として、まちづくりの一端を担い続けてまいります。

ビジョン

- ☆ “横浜”のプロ野球が、“横浜”の街で会話のきっかけになっている
- ☆ “横浜”の人々が、スタジアムで“横浜”を感じながら楽しんでいる
- ☆ “横浜”の企業・店舗が、プロ野球をきっかけにさらに元気になる

I☆YOKOHAMA協定

2017年3月に横浜市と株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社横浜DeNAベイスターズ、株式会社横浜スタジアムとでスポーツ振興と地域経済活性化等に向けた包括連携協定を締結しました。

主な取り組み例

- ① 参加型スポーツの振興に関する事
- ② 子どもの体力向上や健全育成に関する事
- ③ 福祉や行政課題解決に関する事
- ④ 新たな人の流れ創出・まちづくりに関する事
- ⑤ 市民の健康に関する事
- ⑥ 東京2020大会における横浜での競技開催を契機とした機運醸成等に関する事
- ⑦ 地域経済活性化に向けた施策に関する事



横浜市の小学校給食で青星寮カレー



球団製作絵本の配布

横浜市約3万人の乳児にプレゼント



I☆YOKOHAMAフラッグ掲出

横浜スタジアム付近のエリアにフラッグを掲示